



すわっ子だより

仲秋の候

校長 川添 倫義

今年は台風や秋雨前線の影響を受け晴れの日が少ない9月です。

9月30日(水)・10月1日(木)に、6年生と日光・湯元方面へ修学旅行に行ってきました。今年はクマの目撃情報が多いことから戦場ヶ原ハイキングを東武ワールドスクエアの見学に変更いたしました。水・緑・空気が綺麗な日光の自然を体いっぱいを感じながらの校外学習(宿泊学習)が行えました。東照宮の鳴龍の声にびっくりした表情、壮大な華厳の滝を眺める目、温泉から聞こえる楽しそうな声、「美味しい」と言いながら食事をする姿が見られました。文化に触れ、自然を満喫し、たくさんの思い出を作ることができたと思います。

昨年この時期にお伝えいたしましたが、9月21日(月)～30日(水)は秋の全国交通安全運動期間でした。登下校の時や下校後の生活において、子どもたちだけで道路を通行する機会があります。道路は自分や友達等の歩行者だけでなく、自動車やバイク、自転車が行き交っています。最近ではランニングをしているランナーにもよくすれ違います。それぞれの立場で事故にならないよう、社会の一員としてルールやマナーに留意しながら通行したいものです。

歩行者としては、主に4つのことに気を付けるとよいといわれます。1. 歩道や路側帯を歩く。2. 歩道や路側帯のない道は右側を歩く。3. 歩行者の信号を守る。4. 道路を横断するときは、周りの安全を確認してから渡る。

また、歩行中の飛び出しは大きな事故につながります。具体的には、「友達と追いかけて」「ボールを追いかけて」「はなれたところにいる友達から呼ばれて」飛び出すことが多いようです。道路を横断するときの三原則は、「止まる(飛び出さない)」「見る(周囲の安全を確認する)」「待つ(車などが横切らないか確かめて渡る)」とのことです。

先日、1年生の下校時に「周りをよく見て安全を確かめながら、ボランティアさんと一緒に下校してください。お家に帰ったあとに外に出かける時も自分でよく気を付けて交通事故にあわないようにしてください。」と声をかけました。その話をしっかりとこちらを向いて聞いてくれていました。